

団体名 南風原町立南星中学校	連絡先 TEL 098-889-0432 Eメール js-nans9@pub.town.haebaru.okinawa.jp
---------------------------------	--

よく学び、心豊かで、たくましい生徒の育成を図る取組

～ 対話を通して信頼し合い、笑顔と活気にあふれた学校づくりを通して ～

南風原町立南星中学校

1 学校経営について

(1) めざす生徒像，学校像，教師像について

① めざす生徒像（学校教育目標）

- ・よく学ぶ生徒(知)
- ・心豊かな生徒(徳)
- ・たくましい生徒(体)

② めざす学校像

- ・学ぶ喜びが実感できる学校
- ・規律や秩序が保たれた学校
- ・清掃の行き届いたきれいな学校

③ めざす教師像

- ・教育愛に燃え、生徒一人ひとりを大切にする教師
- ・教師としての使命感を持ち、職能向上に励む教師
- ・将来の夢を語り、生徒や保護者に信頼される教師



図1 3年ぶりの本校「耕ホール」での合唱練習

(2) 本年度の「重点的な取組」

① 確かな学力の向上

- ・学ぶことに喜びを感じる生徒の育成

② 豊かな心と健やかな体の育成

- ・道徳授業の指導の充実及び、他人を思いやる心と正義や公正さを重んじる心の育成
- ・ねばり強く心身ともにたくましい生徒を育成

③ 特別活動の充実を図り生徒による自主活動の活性化

- ・よりよい学校生活を送ろうとする意欲を持ち、自分の将来を考え絶えず向上しようとする生徒の育成

④ 保護者・地域との連携の強化及びP T A活動の活性化

- ・信頼される学校をめざす。

(3) 「重点的な取組」の視点

- ・学校・地域、生徒・教師・保護者の「よさ」を見いだし、伸長する教育活動の推進
- ・学校の伝統、実績を踏まえ、職員の創意を生かし、組織的・機能的・協働的な教育活動の展開
- ・安全、安心、快適な学習環境の構築

2 学力向上推進について

(1) 基本方針

- ・本年度の「重点的な取組」に係る事項についての全職員による共通理解・共通実践の推進
- ・校内研究テーマを踏まえた「わかる授業」の構築による「確かな学力」の向上の推進
- ・キャリア教育の視点を踏まえた「学ぶ意欲」の向上及び主体的に学習に取り組む態度の育成
- ・【学びの質を高める授業改善・学校改善】サイクルを確立し、カリキュラム・マネジメントの充実
- ・学力向上 Web システムの活用による生徒の実態にあった指導と個別指導の充実
- ・学校・家庭・地域との連携を強化し、問題解決に向けた取組の推進

(2) 学力向上推進の視点

① 自己肯定感の高まり

- ・生徒の良い点や可能性、進歩の状況などの適切な把握と指導に生かす評価の効果的な導入

② 学び・育ちの実感

- ・教師の教材研究と生徒理解の深化
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善への取組
- ・一人一人の学習状況を丁寧な見取りと指導に生かす評価の実施

③ 組織的な関わり

- ・学校全体で組織的かつ計画的な関わりに基づいた推進
- ・校内研究や教科会、学年会等において、「何をどのように見取り、どのように評価するか、その結果を生徒への支援にどうつなげるか深め、共有する」ことの推進

3 本年度の「重点的取組」の具現化（取組実践）

(1) 確かな学力の向上

① 「キャリア手帳」の活用を通じた「振り返る力」「自己調整力」の育成

- ・手帳へ時間割や学習計画を記入することで、生徒が主体的に学習に向かう姿勢を育む。（自律）
- ・キャリアパスポートを記入する際に手帳を見ることで、学期、年間ごとに自分自身の過ごし方を振り返り、目標に向かって行動を改善する「自己調整力」を育む。
- ・日課表にキャリア手帳記入の時間を設定し、記入の習慣化を図る。



図2 手帳オリエンテーション



図3 手帳を見せ合う様子



図4 色ペンを使って工夫する様子

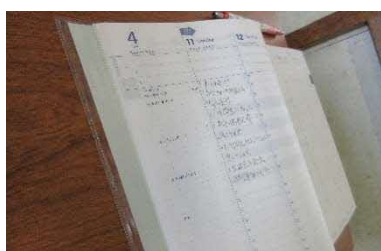


図5 1日の予定を記入

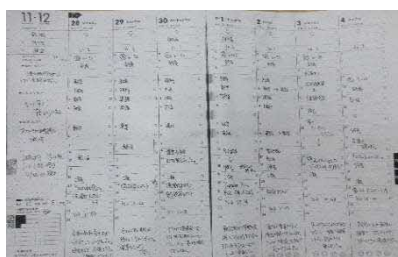


図6 1日・1週間の振り返りを記入

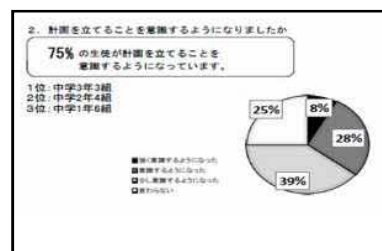


図7 手帳効果見える化レポート資料

②「学習規律」の徹底

- ・2分前着席（前時の振り返り）、1分前黙想の徹底

③ 思考力・判断力・表現力の育成

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る学習活動を取り入れた授業づくり（校内研究テーマ）
- ・学習のねらいの達成に向けた言語活動の設定
- ・思考の見える化（思考ツール、ノート、ホワイトボード、板書、電子黒板等の工夫）
- ・話し合いの目的の明確化（相談・解決・比較等）



図8 ホワイトボード活用（1年数学） 図9 タブレットPCの活用（3年数学） 図10 班で英語表現を考える（3年英語）

(2) 豊かな心と健やかな体の育成

- ・ローテーション道徳科授業を取り入れた授業改善
- ・外部講師による「平和学習講演会」の施

月別	1組	2組	3組	4組	5組	6組
9/1	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/2	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/3	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/4	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/5	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/6	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/7	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/8	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/9	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/10	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/11	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/12	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/13	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/14	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/15	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/16	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/17	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/18	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/19	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/20	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/21	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/22	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/23	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/24	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/25	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/26	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/27	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/28	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/29	中野	中野	中野	中野	中野	中野
9/30	中野	中野	中野	中野	中野	中野



講師に狩俣日姫先生を迎え、オンライン形式による平和学習を実施。生徒はワークショップに参加し平和について考えました。

図11 ロテーション道徳科授業の授業計画表 図12 平和学習ワークショップの様子

(3) 保護者・地域との連携の強化

- ・地域人材を活用した総合的な学習の時間の実施
- ・外部講師による講演会及び体験を伴う講話の実施



図13 美術家照屋勇賢さんによる講話 図14 映像クリエイターによる体験型講話 図15 農業従事者による講話

(4) 地域ボランティアと連携した放課後勉強会（テスト前勉強会）の実施



図16 放課後勉強会の様子 図17 放課後勉強会（英会話）の様子 図18 放課後勉強会ポスター

3 校内研修について ※学力推進と校内研修の連携を踏まえた「確かな学力」の向上

(1) 校内研究テーマと基本方針

① テーマ

「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る学習活動を取り入れた授業づくり
～新学習指導要領における指導と評価の一体化を通して～

② 基本方針

- ・授業実践や授業リフレクションを通して、各教科の学習評価について共通理解を図る。
- ・単元指導計画に基づいた評価の実施・改善を図り、指導と評価の一体化を具現化していく。



図19 教科研修会の様子

(2) 研究の重点（共通実践事項）

- ・評価における3観点について、各教科で評価方法を検証し、生徒への指導につなげる。
- ・本年度の「重点的な取組」に係る事項も踏まえた授業実践を日常的に行う。
- ・1人1公開授業2授業参観を行い、授業リフレクションを各教科会で行う。
- ・学力調査官、指導主事等を招聘した授業研究会の充実による日常的な授業の改善を図る。

(3) 研究授業（学力調査官、指導主事招聘授業等）の実際



図20 主事招聘授業（3年英語）



図21 主事招聘授業（3年 数学）



図22 主事招聘研究授業（3年道徳）



図23 主事招聘授業（2年 国語）



図24 主事招聘授業（2年理科）



図25 主事招聘授業（1年 社会）



図26 義務教育課学校支援訪問（3年国語）



図27 学力調査官招聘授業（1年数学）



図28 学力調査官招聘授業(1年数学)



図29 学力調査官参観授業（1年数学）



図30 主事補招聘研究授業（2年数学）



図31 元学力調査官招聘授業（2年数学）

5 本年度の成果と課題、今後の対応策

(1) 成果・今後の対応

- 令和4年度全国全国学力調査質問紙・令和4年度沖縄県児童生徒質問紙の共通項目（以下共通項目）⑦「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ているか」は県と比較して2.3pt、1学期と比較して1.4pt高い結果となった。

この要因として、「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた授業改善やICT・ホワイトボード等を活用した授業形態の工夫等、全職員による共通実践が生徒の学びの実感につながったと考えられる。

- 共通項目⑤「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」では、県と比較して15.1%と減少傾向であったが、1学期と比較して2学期は1.3ptと改善した結果となった。この要因として、継続してキャリア手帳を活用し、「見通す力」「タイムマネジメント」の育成に取り組んだ結果と考えられる。
- これらの結果を踏まえて、次年度も継続して「キャリア手帳」の活用を充実させ、自学自習の習慣化を図る取組を推進していく。

2学期間（7月～12月）における生徒の変容	全学年（肯定的回答）		
	1学期	2学期	7月からの変容
①自分には、よいところがあると思うか。	84.60%	83.9	▲0.7
②先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか。	91.60%	88.7	2.9
③ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるか。	94.70%	92.3	▲2.4
④人が困っているときは、進んで助けていると思うか。	91.6	87.9	▲3.7
⑤家で自分で計画を立てて勉強をしているか。	52.3	53.6	1.3
⑥これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか。	81.9	81.2	▲0.7
⑦学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ていると思うか。	85.4	86.8	1.4
⑧学級みんなで話し合っ解決したことなどに協力して取り組み、うれしかったことがあるか。	84.4	81.6	▲2.8
⑨学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思うか。	88.9	85.8	▲3.1
⑩これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用したか。	58.4	73.8	15.4

※1「全国学力・学習状況調査 質問紙調査」※2「沖縄県児童生徒質問紙調査」

図 32 各種調査結果による分析グラフ

(2) 課題・今後の対応

- 共通項目①「自分には、よいところがあると思うか。」は8割を超えているものの、1学期と比較すると0.7ptと減少傾向が見られた。修学旅行や合唱コンクール等の学校行事も実施され、生徒の自己肯定感を育む取組は充分あったと思われるが、減少傾向となった要因の一つとして、コロナ禍における制約に対する疲労感が影響していることが考えられる。

今後の対応として、生徒の良さや可能性を認め、生徒一人一人の心の状態に寄り添いながら、「自己肯定感」を育む取組（視点）を焦点化し、生徒自身が学び育ちの実感を伴う取組へ改善していく。

- 共通項目⑨「学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思うか。」は、県と比較して1.3pt高いものの、1学期と比較して3.1pt減少傾向が見られた。

今後の対応として、道徳の授業を通して道徳的価値を深めた各内容項目の学びと関連づけた特別活動における道徳的実践の取組を、系統的に計画して実践する。

～自立・共生の学校 南星中学校～ すべては子ども達の成長のために

